Creative Enzymes®

# ネイティブ牛デオキシリボヌクレアーゼ

*Cat. No. PHAM-266*

*Lot. No.* (See product label)

## はじめに

| | |
|---|---|
| *説明* | DNase Iは、ピリミジンに隣接するリン酸ジエステル結合に作用するエンドヌクレアーゼであり、末端に5′-リン酸を持つポリヌクレオチドを生成します。Mg2+の存在下で、DNAse IはDNAの各鎖を独立して切断し、切断部位はランダムです。Mn2+の存在下では、両方のDNA鎖がほぼ同じ部位で切断されます。最適pHは7から8の間にあることがわかっています。Mn2+、Ca2+、Co2+、およびZn2+のような二価カチオンは、酵素の活性化因子です。5 mMのCa2+濃度は、酵素をプロテオリティック消化に対して安定化させます。牛膵臓由来のDNAse Iは、クロマトグラフィーで区別可能な4つの成分、A、B、C、およびDから構成されており、モル比はそれぞれ4:1:1です。Dはごくわずかしか見つかりません。2-メルカプトエタノール、キレート剤、ドデシル硫酸ナトリウム（SDS）およびアクチンは、酵素活性を阻害することが知られています。 |
| *用途* | タンパク質サンプルからDNAを除去するために使用されます。 |
| *別名* | EC 3.1.21.1; DNase I; デオキシリボヌクレアーゼ I; デオキシリボ核酸 5'-オリゴヌクレオチドヒドロラーゼ |

## 製品情報

| | |
|---|---|
| *種* | ウシ |
| *由来* | 牛膵臓 |
| ***EC*番号** | EC 3.1.21.1 |
| ***CAS*登録番号** | 9003-98-9 |
| *分子量* | mol wt ~31 kDa |
| *単位定義* | 1 Kunitzユニットは、pH 5.0、25 °Cで、基質としてDNAタイプIまたはIIIを使用した場合、1 mLあたり1分間にΔA260が0.001を生成します。[Mg2+] = 4.2 mM |

## 使用法とパッケージング

| | |
|---|---|
| *包装* | >0.5 mgの総タンパク質のバイアル |

## 保管・発送情報

| | |
|---|---|
| *保存方法* | −20°C |